外来診療担当医表

			月	火	水	木	金	土
午前診	9:00〜12:00	内科	日馬院長（消化器内科）	戸上（内科）	日馬院長（消化器内科）	松田（内科）	向井（内科）	日馬院長（消化器内科）
					松田（循環器内科）			
		整・外・他	劉（整形外科）	小島（整形外科）	小林（整形外科）	小林（整形外科）	逸見（整形外科）	松田（総合）
			小林（整形外科）			鈴木（皮膚科）第3週のみ		
午後診	13:30〜17:00		劉（整形外科）		川端（形成外科）			
夜診	17:00〜20:00	内科	蜂矢（内科）	日馬院長（消化器内科）	日馬院長（消化器内科）	向井（内科）	松田（内科）	
		整・外・他	小林（整形外科）	曲直部（整形外科）	松田（総合）	小林（整形外科）	逸見（整形外科）	

交通案内

★京阪「寝屋川市」駅下車　車6分　寝屋川消防署前
★旧国道1号線　交差点　「石津元町」より　車3分
★「寝屋川市」駅より、京阪バス「太間口」方面行き
「石津元町」下車すぐ
★タウンくる「石津南町」下車　徒歩5分

お願い　月に1度は必ず保険証の提示をお願いいたします。
検診を受けられる方も、保険証をご提示ください。

患者さんの個人情報保護について

当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも、万全の体制で取り組んでいます。

個人情報の利用目的について

当院では、患者さんの個人情報を別記の目的で利用させていただくことがございます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さんからの同意を頂くことにしておりますのでご安心下さい。

個人情報の開示・訂正・利用停止等について

当院では、患者さんの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。

医療法人全心会　寝屋川ひかり病院
〒572-0025　寝屋川市石津元町 12 番 20 号
電話：072-829-3331
フリーダイヤル：0120-29-3336
FAX：072-829-3339
ホームページ：http://www.neyagawahp.com/

寝屋川ひかり在宅センター

寝屋川ひかり訪問看護ステーション

看護師が訪問し、寝たきりなどの不自由があり、自宅で療養したいといった方々のご家庭を訪問し、介護指導や介護相談を行います。

TEL：072-829-3351
FAX：072-812-2083

寝屋川ひかりケアプランセンター

ケアプラン作成の他、利用者が安心して介護サービスを利用できるように支援するための施設です。

TEL：072-812-2081
FAX：072-812-2083

通所リハビリテーション

従来のリハビリテーションを医療保険ではなく、介護保険を利用して受けられるサービスです。短時間でのリハビリテーションを受けることが可能です。

医療法人　全心会
寝屋川ひかりだより
第51号
2024.8
発行

CONTENTS

夏の脱水による脳卒中にご注意を・・２ページ
夏の脱水予防特集・・・・・・・・・・３ページ
外来診療担当医表・・・・・・・・・・４ページ

～病院理念～

1. ひかり輝く心身であれ　2. 患者さまの立場になって考えよ　3. 責任を持って行動せよ

基本方針

1. 相互理解　医療と看護を受ける側、提供する側の相互理解を深め、患者さま本位の医療と看護を提供します。
2. 高質安全　常に時代に即応した高質で安全な医療と看護を提供します。
3. 地域貢献　地域住民の方の救急医療及び健康増進に貢献します。
4. 医療連携　他の医療機関、介護施設との連携を図り、健康と福祉を支援します。
5. 品質改善　医療サービスにおける品質マネジメントシステムに適合し、その有効性の継続的改善を図ります。

患者様の権利

1 平等な医療　公平に、適切でかつ良質な医療を受ける権利があります。
2 個人の尊厳　尊厳ある個人として、その生命・身体・人格が尊重されます。
3 自己決定権　説明を十分に受けた後、その検査法、診断、治療法に対して自由に選択、決定する権利があります。
4 セカンドオピニオン　医師や医療機関を自由に選ぶ権利があり、また別の医師の意見を求める権利があります。
5 個人情報の保護　診療上の個人情報を守られる権利があります。
6 医療の情報開示　ご自分の症状や医療の内容に関して、必要な情報を求める権利があります。

患者様の責務

1 情報提供　適切かつ迅速な医療を受けるために、自らの身体状況等、必要とされる情報を可能な限り正確かつ迅速に医療提供者に伝える義務があります。
2 時間的協力　医療提供者から十分な情報提供を受けるために、本人及びご家族の時間的協力が必要です。
3 意思表示　医療提供者から十分な医療情報の説明を受けた上で、診断･治療方針の決定について、自らの意思を明らかにする必要があります。
4 医療・療養環境　全ての患者様が適切な医療を受けられるように、患者様相互のより良い医療･療養環境に配慮する義務があります。
5 治療費支払　治療費等の医療サービスの対価を遅滞なく支払って頂く義務があります。

NEYAGAWA HIKARI HOSPITAL Vol.51 2024.8

NEYAGAWA HIKARI HOSPITAL Vol.51 2024.8

夏の脱水による脳卒中にご注意ください

夏場のリスクについて

夏は気温が高くなるため、人体は体温を下げようと血管を拡張させ熱を放出します。すると血流のスピードが落ち血圧が低下します。さらに、汗をかくことで水分が不足し、血の塊（血栓）ができ、脳血管が詰まりやすくなります。つまり、夏の脳血管障害は、脱水による水分不足によりリスクが大きくなります。

脳卒中は以下の3種類に分けられます。

脳 出 血 脳の細い血管が破れて出血します。

くも膜下出血 脳血管にできた動脈瘤というコブが破れ、激しい頭痛が突然起こります。

脳 梗 塞 血栓により脳の血管が詰まることで酸素が行き渡らなくなり脳細胞が死んでしまいます。

脳卒中は上記のようなものがあげられますが、**脳梗塞が全体の6割以上**を占めています。

脳卒中ではFASTと呼ばれる事項に注意して下さい。

Face 顔の麻痺、ゆがみ、うまく笑えない

Arm 両腕をまっすぐ上げることが難しい

Speech ろれつが回らなくなる、簡単な文章が言えない

Time 時間に注意し、左記のような症状が現れた場合は、早期に救急車を呼び病院を受診をすることが大切です。

救急車を呼ぶ際に準備しておくと助かる持ち物

- 健康保険証、診察券
- 現金（1～2万円程度）
- 靴
- おくすり手帳、普段飲んでいるお薬
- ケイタイ電話
- 緊急連絡先が書かれたメモなど
- 身分証（免許証・学生証）など

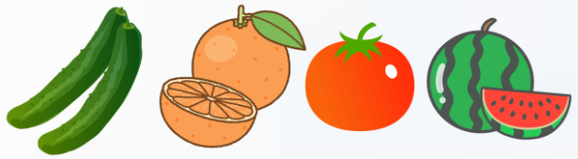
夏の脱水予防特集

食べて・飲んで・整えて！毎日の工夫で脱水を防ぎ、夏を元気に！

脱水予防の基本

- こまめな水分補給
  のどが渇く前に、一日 1.2～1.5ℓ を目安に。
  寝起き・入浴後・就寝前の「コップ1杯習慣」を！
- 水分＋塩分を意識
  麦茶と梅干し、具だくさん味噌汁などで補給。
- 高齢者は特に注意
  のどの渇きを感じにくいため、時間を決めて飲みましょう。
- 環境を整える
  エアコン・扇風機を適切に活用し、直射日光を避ける。

脱水に強い食材



水分が豊富

カリウム補給

簡単！脱水対策レシピ

①きゅうりとわかめの酢の物

さっぱり味で塩分・水分を効率補給
きゅうりを薄切りにし、戻したわかめと酢・砂糖・醤油少々で和える。

②トマトと豆腐の冷やしサラダ

火を使わずに簡単、ビタミン＆たんぱく質で体力回復。
角切りトマトと豆腐を合わせ、ポン酢でさっぱり。

③スイカ・オレンジのフルーツポンチ

子どもから高齢者まで楽しめる夏の一品。
一口大に切った果物に炭酸水を注ぐだけ。